

ふれあい

第84号
特集号
2024.8



公益社団法人 北広島市シルバー人材センター

〒061-1113 北広島市共栄町3丁目12番地1

JMPサンライズ北広島シルバー活動センター内

TEL 011-373-6763 FAX 011-373-1252



議案審議



下村理事長



川村副市長



坂本副議長



鶴羽道議
代理 道塚氏



会員表彰



伊藤議長



白崎安全委員長



安全宣言

令和6年度
定時総会開催

令和6年6月11日（火）、芸術文化ホールにて令和6年度定時総会を開催しました。

総会に先立って、当センター発展のためにご尽力いただいた会員物故者に黙祷を行い、続いて会員として在籍10年に達した方、地域班長を3期以上在任した方、役員を3期以上在任した方に対する表彰を行いました。

下村理事長の挨拶の後、ご来賓として北広島市副市長川村裕樹様、北広島市議会副議長坂本寛様、北海道議会議員鶴羽芳代子様、代理道塚美彦様並びに北広島市経済部次長柴清文様にご出席いただき、ご祝辞と励ましのお言葉をいただきました。

その後、議事に入り、議長に指名された第3地区の伊藤貢さんの進行のもと、令和5年度収支補正・流用予算、令和6年度事業計画及び収支予算、配分金見積基準表改正の報告案件4件並びに令和5年度事業報告及び収支決算報告、役員の選任の議案3件については、いずれも原案のとおり承認・可決され、総会は終了しました。



令和6年度のスタートに向けて

理事長 下村 英敏



我が国は本格的な超高齢化社会を迎えている中、シルバー人材センターは、人生100年時代を見据え、高齢者に日常生活に密着した就業機会を提供することにより、社会参加を促進し、地域の活性化に貢献する重要な役割を担っています。

会員数は70歳までの再雇用や定年延長の影響により減少傾向が強くなってきており、会員の高齢化による退会会員の抑制、後継者の育成、円滑な世代交代を進めるうえで、会員の拡大が最重要課題です。

一方、海外での紛争や円安に伴う物価高騰等により、経済情勢の閉塞感が高まる中、事業運営においても景気動向等を十分注視していかねばなりません。

更に、企業の実業機会確保の努力義務やインボイス制度の導入、契約方法の見直し等、センターを取り巻く環境は大きく変わってきており、事業運営は厳しい状況にもあります。

今日、シルバー事業を巡る喫緊の課題は、業務の効率化、経営基盤強化を図るためのデジタル化の推進です。Web入会システムの導入や就業情報の提供は、利便性の向上にも繋がります。また、11月に施行されるフリーランス新法に対応した新たな契約方法への移行も進めていく必要があります。

こうした現況のもと、会員の拡大、センター運営の効率化、安全就業の徹底を図りつつ、市民や地域のニーズを的確に把握し、新たな発想・視点をもって、就業機会の提供に努めることにも、地域の活性化に取り組んでいきます。

我がまちは、「ボールパークFビレッジ」により新しい時代への扉が開かれました。北広島駅周辺では、複合交流拠点施設が開業し、賑わいと活力に溢れるまちとなっていくことでしょう。当センター事業への影響もあるものと考えています。

今後も、市をはじめ関係団体とも十分連携を図り、市民に信頼され喜ばれるシルバー人材センターとして事業運営できるように皆さんとともに努力していきたいと考えておりますので、ご協力をお願いします。

令和6年度 事業計画の概要

会員拡大計画を踏まえ、具体的取組事項との整合を図りながら今年度の事業を展開します。

- 1 事業の啓発普及と就業機会の拡大
会報の定期発行、木工展示販売会の開催、Smile to Smileによる就業情報の提供、シルバー活動センターでの木工品や手芸作品、腐葉土の販売促進など
- 2 安全就業の推進と健康の確保
安全就業対策基本計画の策定、安全就業基準の周知・遵守の徹底、安全委員会による就業現場巡回、発生意事故の検証と再発防止への対応など
- 3 適正就業の推進
一般労働者派遣事業の実施
- 4 会員の拡大と知識・技能の向上
会員拡大計画の具体的取組事項の実践、就業体験講習会の開催、女性委員会（ほほえみ）活動の活性化、スマホ講習会の開催、Smile to Smileの登録促進など
- 5 組織の活性化と事務局運営
地域班による活動の継続と活性化、理事会や専門部会等による事業活動の活性化、国の補助金を活用したデジタル化の推進など
- 6 会員の福利厚生
独自の事業の推進
花苗・腐葉土・木工品づくりの3事業の継続実施など
- 7 地域就業機会創出・拡大事業
空き家管理協定締結による空き家見回り業務の推進、北海道ボールパークFビレッジに関連する業務の受注など
- 8 財政基盤強化
インボイス制度の経過措置期間中に応じた事務費等の適切な対応など
- 9 関係機関・団体との連携強化
自然災害等の発生時への対応
全シ協の指導を踏まえて、自然災害等発生時に的確に対応できる取り組みなど
- 10 事業目標
会員数498人以上、受注契約金額2億2,000万円（派遣事業含む）

新役員紹介

令和6年度は、2年に一度の役員改選期であることから、各地区から推薦を受けた会員や女性及び独自事業理事候補者が役員選考委員会から提案され、総会において審議の結果、全会一致で承認されました。これから2年間よろしくお願ひします。

【任期】令和6年6月11日から令和8年度定時総会の終結日まで

理事 下村 英敏 (第4地区)
副理事長 (再) 白崎 秀年 (第6地区)
常務理事 (再) 山崎 克彦 (第1地区)

理事 (再) 山下 千秋 (第1地区)
理事 (再) 吉田 清 (第2地区)
理事 (再) 佃 弘明 (第3地区)

理事 (再) 村上 英敏 (第7地区)
理事 (再) 阿蘇 久男 (第8地区)
理事 (再) 寺嶋 好隆 (第9地区)

理事 (再) 原 享子 (第1地区)
理事 (再) 西窪 瑞恵 (第9地区)
理事 (再) 大河 友子 (第2地区)

理事 (再) 大和 幸江 (第4地区)
理事 (再) 熊坂 克也 (第4地区)
監事 (再) 中山 至美緒 (第6地区)

理事 (再) 三上 元幹 (第5地区)
監事 (再) 中 山 至美緒 (第6地区)

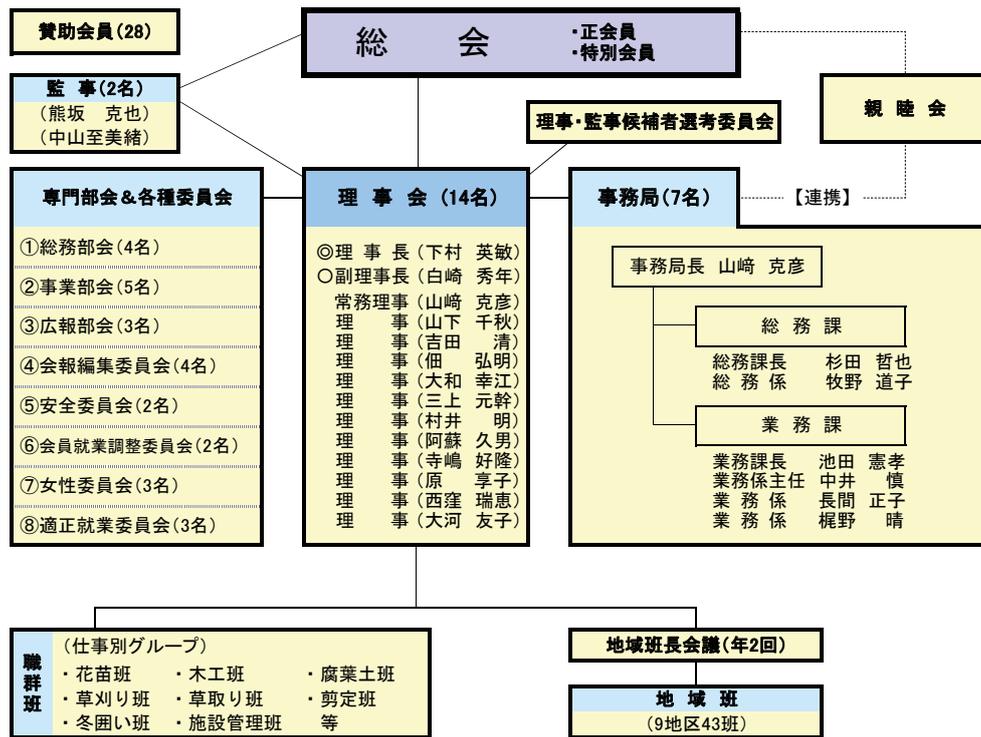
山藤理事が定時総会をもって退任されました。長い間、お疲れさまでした。

今回の表紙プラス (ファイトース特別講演)



総会の前に、(株)ファイトース スポーツ&エンターテイメントの小林様を講師にお招きし、「ボールパークプロジェクト～過去、現在、そして未来に向けて～」と題しての講演会を開催しました。ファイトースプロジェクト「共同創造空間」の理念のもとで進めてきたこれまでの実績、またこれからの取り組みについて、とても興味深いお話を聴くことができました。

(公社) 北広島市シルバー人材センター組織図 (令和6年6月11日現在)



- ◆ アーク大隅(株)
- ◆ 協業組合エクスセル三和
- ◆ (有)エルム保険センター
- ◆ (有)贈屋本舗
- ◆ (株)カミノ
- ◆ (株)力ワバタ札幌営業所
- ◆ 環境開発工業(株)
- ◆ 北広島工業(株)
- ◆ 北広島商工会
- ◆ 社会福祉法人北ひろしま福祉会
- ◆ 久蔵庵
- ◆ (株)クラーク自動車
- ◆ (株)興発ス・パイラル製作所
- ◆ 佐々木・広谷建設(株)
- ◆ 公益財団法人産業雇用安定センター
- ◆ 三和機工(株)
- ◆ (株)シヨツピング北広
- ◆ 田島工業(株)
- ◆ (株)トヨタレンタリース札幌北広島インター店
- ◆ 道央農業協同組合北広島支所
- ◆ 北斗防災設備(株)
- ◆ (株)北洋銀行北広島中央支店
- ◆ 北駿建設(株)
- ◆ 北海道エネルギー(株)北広島SS
- ◆ (株)北海道銀行北広島支店
- ◆ 北海道車体(株)
- ◆ (株)ラウディ
- ◆ (有)良寿司

賛助会員のご紹介 (五十音順、敬称略)

賛助会員は、センターの目的に賛同し、事業に協力していただける個人または団体であり、令和6年4月には新たに「(株)ラウディ」様にご加入いただき、現在28の企業等にご加入いただいております。賛助会員の皆様には、日頃からご支援をいただき感謝申し上げます。今後ともご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

会員大募集 ひとりー会員入会活動



当センターの会員数は、令和2年度の571人をピークに減少が続いており、会員の平均年齢も上昇し、高齢化が進んでいます。こうしたことから一般家庭や企業等からの多くの依頼に応じられないが増えていきます。隣人、知人、友人で60歳以上の元気で働く意欲のある方がいましたら、ぜひ当センターにお誘いください。また、昨年からは実施している「会員紹介キャンペーン」について、紹介会員と入会者に進呈するクオカードは1,000円に増額して今年度も実施しています。ひとりー会員入会活動にご協力をお願いします。入会説明会は、毎月開催しています。

花苗販売

2月初めよりタネから育てた花苗の販売を4月25日からスタート。今年は花苗事業30年目ということで感謝の気持ちを込めて花苗300株のプレゼントを行い、売れ行きも好調で、例年より早く5月26日に販売終了となりました。

5月22日に開催した寄せ植えのコツなど指導する園芸講習会は、すぐに定員に達するほどの人気で、参加された皆さんは、それぞれ思い思いの寄せ植えを完成していました。



木工展示販売会

JR北広島駅に隣接するエルフィンパーク交流広場で、6月25日から3日間開催しました。

木工班による木工品の展示販売や恒例の包丁研ぎ、また女性委員会（ほほえ〜む）による手芸品の展示販売やリサイクルワンコイン市なども行われました。何とか天候にも恵まれ、多くの方に来場いただき、大盛況のうちに終了しました。



講習会だより（7月までに終了した講習会から）

交通安全教室 5/15

厚別警察署の方が講師となり、記憶力・視野力・動体視力のテストを通じて、自分の能力を知るという講義が行われました。

また昨年に引き続き、道警の交通安全教育車「ほくと号」による疑似体験も行われました。



網戸張り講習会 5/31

夏本番に向けて、網戸の張替えの技術やコツを習得するための講習会を行いました。参加者は会員講師による指導を受けながら、各自持参した網戸の張替えに挑戦し、上手に完成させることができました。



スマホセミナー 6/5

賛助会員の㈱ラウディ様の協力をいただき、初級編、中級編に分かれての講習会を開催し、文字入力やQRコードの読み込みなどについて学びました。またSmile to Smileの登録の仕方についての指導も行われました。



普通救命・AED講習会 6/12

消防職員による講義と実技指導により、救急救命の重要性を学びました。また、AEDによる救命措置については、いざという時には慌てず適切な対応ができるようダミー人形を使って実態に即した指導が行われました。



令和6年度後半の講習会	講習会名	日程	曜日	開始	終了	定員	
						会員	一般
	冬 囲 い 講 習 会	10月9日	水	9時	16時	15名	5名
	交 通 安 全 講 習 会	11月28日	木	10時	12時	15名	
	正 月 リ ー ス 講 習 会 (女 性 委 員 会)	12月5日	木	9時	12時	20名	8名
	木 工 講 習 会	1月22日~23日	水・木	9時	15時	10名	
		2月18日	火	13時	16時		10名
	包 丁 研 ぎ 講 習 会	2月28日	金	9時	12時	10名	
				13時	15時		10名
	ス マ ー ト フ ォ ン 講 習 会	未定		9時	12時	10名	

9月以降の配分金の支払い予定日	9月17日 (火曜日)
	10月15日 (火曜日)
	11月15日 (金曜日)
	12月16日 (月曜日)
	1月17日 (金曜日)
	2月14日 (金曜日)
	3月14日 (金曜日)

安全就業の推進コーナー

事故ゼロはみんなの願い

慣れ、油断が大敵!!

初心を忘れずにお願ひします

安全委員会委員長 (副理事長) 白崎 秀年

シルバー会員になった動機は、皆さんそれぞれにいろいろあると思います。「まだまだ元気だから」「健康を維持するために」「仲間と共に働いて、生活に張りを持ちたい」「地域に貢献することにもなる」「多少でも収入があつて嬉しい」などなど…。

しかし毎年、ほんの少しの油断から思わぬ事故にあつたり、ケガをしたりする会員さんがいます。幸いにも重篤な状況や重い後遺症を負うことにはなっていないですが、本人にとっては誠に残念な思いに沈んでおられるのではないのでしょうか。

今年度も早々から物損、傷害の事故が発生しています。毎年歳を取り、我々高齢者は、足腰も弱くなり、平衡感覚も衰えてきて、とっさの状況に的確に対応できにくくなってきています。また、年々上昇する気温も少なからず体調への影響を無視できません。

慣れ、油断こそが大敵です。初心を忘れずに、作業の際には周りの状況に気を配り、声をかけ合い、注意を喚起し合うことが大切です。班長さんの指示の下で、お互いの気持ちを一つにして安全作業を心がけましょう。



◆ 最優秀賞 ◆
令和6年度安全標語 (安全就業・交通安全)
 ・手慣れても 初心忘れず 基本から
 ・ちよつと待て 慣れたことでも 再確認
 ・ゆづり合う やさしい心に 事故は無し
 ・なれた道 焦る気持ちで 事故を呼ぶ

女性委員会(ほほえ〜む)の活動コーナー

ほほえ〜むが模索するものは…

委員長 大和 幸江



「ほほえ〜む」にかかわり、私は今60〜80代の女性が求めることは何かを考え続けています。

男性は60代で定年を迎え、仕事から解放されて、少し「楽」になれるように思っています。一方、女性は親や家族の介護、孫の面倒などで60代となっても決して「楽」にはならないように思います。

そんな中で、シルバー人材センターに入社する女性は、「新しい活動をして、健康でイキイキと生活していきたい」と自立した考えを持った方々です。

自由な時間が多くはない私たちが望むことは…?

たとえば、循環型社会が推奨される今、家の中の整理を進めるリサイクル活動も一つかなと考えられています。が、「ほほえ〜む」が、女性の心に響く、女性のための委員会として進化していきたいと思っています。

毎月、第一木曜日13時〜16時 シルバー活動センターで例会を開いています。

興味のある方、仲間になりませんか?

お気軽にお越しください。お待ちしております。



SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) を開設しました!

6月からセンター公式SNSとして、「Instagram (インスタグラム)」と「X (エックス (旧Twitter))」を始めました。

「Instagram」では、写真を使って木工班や花苗班、女性委員会(ほほえ〜む)などの活動を投稿しています。

「X」では、講習会などの告知やセンターの日常を、またエスコンフィールド北海道での試合日には天候などの情報を提供しています。

ご興味がありましたら是非フォローしてください!

「SNSって何?」、「SNSをやってみたいけど分からない」などありましたら、お気軽に事務局にお尋ねください。



Instagram X (旧Twitter)



会員の広場

趣味と実益

第6地区2班会員 天野 文夫

ギター（アコースティックギター）を弾いて半世紀になります。

ライブ活動を始めるようになり、参加費を支払ってイベントに参加したりしますが、まれに、主催者から出演料なるものを受け取る僥倖に恵まれることがあります。

これが俗にいう「素人への悪魔のささやき」と言われるものです。つまり、ギャラ＝セミプロなどという都合の良い自己解釈で、アマチュアを有頂天にさせてしまうのです。冷静に考えれば、お金を払って見に来るようにならなければプロではないのに。とは言え、趣味に実益がプラスされれば、それはそれで嬉しいもの。

シルバー人材センターの仕事も、ある意味、趣味（過去の経験・実績）に実益が伴ったものであるとも言えます。

これからも、シルバーとライブ活動で、趣味と実益の「二刀流」を目指したいと思います。



刈払機取扱安全講習に参加して

第3地区4班会員 川滝 実

6月24日、除草の仕事に少しでも役に立つと思い、刈払機取扱安全講習を受講しました。

刈払機の使用において、始動・停止・付帯装置の扱いや安全作業の動作を覚えることは当然のことながら、初めて振動障害とその予防に関する知識を得ることができ、非常にためになる講習でした。今後は、取り扱う機械に対する点検、整備はもちろん大事ですが、振動障害と予防についても意識して仕事をしたいと思います。



親睦会だより

7月18日 この日は真夏日だった
28人のシルバー会員が日頃の仕事を離れ
足取り軽くバスに乗り込む
9時、センターの職員に見送られ出発
広々とした田園地帯を風に吹かれバスは走る
車内からは楽しい会話や笑い声が聞こえる
道の駅「三笠」や坂本龍馬に縁ある
浦臼の「つるぬま」に立ち寄り
新十津川温泉「グリーンパークしんとつかわ」に着く
早速、彩り豊かな昼食に舌鼓、会話が弾む
ゆつたりした時間の中、天然温泉で体を癒す人
地下空間のカラオケボックスで
自慢の喉を披露し周囲を盛り上げる人
それぞれが身も心も自由奔放だ
午後、「新十津川物語記念館」を訪れ
テレビで放映されたドラマのダイジェストを見る
さらに「食路楽館（くじらかん）」へ足を向け
地元で発掘されたクジラの化石レプリカに驚く
「砂川ハイウェイオアシス」では
手に一杯の買い物したり
子供のようにはアイスを食べたりして時間を楽しんだ
3時過ぎ、心地よい疲労感に包まれてバスは帰路へ
まるで青春時代に戻ったようなシニアの姿は
きつと明日への活力になったに違いない
そして幹事の方に感謝をしながら家路に就いた

田園の風に吹かれ、真夏の空知を巡る
熊坂 克也

事務局職員レター

業務課 梶野 晴

シルバー職員として5ヶ月が過ぎました。事務局の先輩方や会員の皆様を支えていただきながら何とかここまで勤めています。

さて、5ヶ月ともなると、「慣れ」というものが始まっているのではないかと思います。仕事だけでなく、車の運転や人間関係等も「慣れ」から悪い方向に進むこともあります。

この「慣れ」を悪い意味の「慣れ」にしないためにも、今持っている感謝の気持ちを忘れず、今後も全力で、良い意味での「慣れ」を活かして頑張っていきたいと思います。



発行
公益社団法人
北広島市シルバー人材センター
編集
広報部会編集委員
◎山下千秋
◎三上元幹 ◎西窪瑞恵
◎熊坂克也 ◎山崎克彦
印刷
千歳印刷株式会社

「2024パリ五輪」が7月26日に開幕し、先の「2020東京五輪」とは違い、大勢の観客の前で選手が躍動する本来の姿が見られました。その直前の6月から私たちは本号の編集に入りました。▼各ページのテーマを決め、執筆者への原稿依頼や掲載写真の選定▼2校作業では、レイアウトやフォント（文字）などを検討し、文面の趣旨は変えない範囲で、各記事の文節や語句の微調整▼3校作業では、記事全体の最終校正を行い、印刷へ▼今回も関係者の協力を得て無事発行にこぎ着けましたが、今後も業務情報や会員の活躍を中心に、記憶に残る紙面作りを努めていきます。
(熊坂)

編集後記

